



今年度も半分を過ぎました

1年の半分が過ぎました。いろいろなことがあった前半6か月でしたが、時は確実に過ぎていきますね。高校生活は、勉強に部活動に、そして学校行事にと、本来は各所に各自の活躍の場があります。そういったことが様々な絡み合って高校生活を送っていくのが昨年度まででした。今年度は残念ながら体育祭や文化祭等の学校行事は実施できませんでしたが、現在は勉強はもちろん、部活動もかなりできるようになりました。例年3年生は、文化祭時には落ち着かなかつたり時間を持て余すことが多かったのですが、文化祭自体が中止になったため、今年度はそういったことはありませんでした。したがって、勉強面では各自が充実した8・9月を送れたのではないのでしょうか。コロナ禍の中で悪い方向ばかりを考えるのではなく、前向きに物事をとらえていけるといいですね。

1・2年生の皆さんへ

10月は祝日が無く、土曜授業が3回。そして、13日(火)からは中間考査が始まります。季節の変わり目で涼しい日も多くなりますので、体調管理をしっかりしてください。2学期が始まるのが早かったため、中間考査までの期間が例年以上に長くなります。したがって、例年以上に試験範囲が広がるかもしれません。早めの試験対策を心掛けましょう。

また、10月末には年3回行われる進研記述模試があります。前回の模試の振り返りはしっかりできましたか。結果に一喜一憂するのが模試の目的ではありません。模試ノートをつくり弱点を克服していきましょう。2年生は今回も志望大学学部学科を4つまで書くことができます。レベル的に同じようなところを書くことは避けましょう。同じ判定になることがわかっていますから。1年生は今回も志望校は書けませんが、結果として出てくるGTZを使えば、現在の学力で行くことができる大学がわかります。

3年生の皆さんへ

9月末に大学入学共通テストの出願を終えました。総合型選抜を受ける人は出願を終えた人も多いでしょう。今年度は特別で、現在決まっている選抜方法が明日には変わることがあるかもしれません。今後も受験予定の大学の選抜状況等はHPで最新情報を確認してってください。

東京工業大学、東京都立大学、東京農工大学の①共通テスト英語の扱い、②英語の資格・検定試験、③主体性評価、④主な変更点やポイントについて、各大学の内容を以下に挙げます。参考にして下さい。(ベネッセ資料より。8月下旬時点。変更の可能性あり)

- 東京工業大学…②一般選抜では民間試験の成績を出願資格とはしない。③個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して合格者を決定。④生命理工学系の後期を廃止。全学院で2段階選抜を新たに実施。募集人員の4倍を第1段階選抜の基準に。難関国公立大学での後期日程の枠がなくなるため、併願先の選定がより重要に。
- 東京都立大学…①リーディングとリスニングの配点は学部・学科によって異なるが、多くは4:1の配点比率。②外部英語検定試験は、活用を取りやめる。個別学力検査での「外国語」の試験は行わない。③調査書を合格者の判定に活用。配点は学部・学科によって異なるが、最大でも総合点の約3%程度。調査書等については採点の対象にはせず、全ての受験者を一律満点扱い。④個別試験の外国語の廃止に伴い、多くの学部で共通テストの外国語の配点が高くなるため、対策は重要。
- 東京農工大学…①農の前後期と工の前期はリーディング130点、リスニング70点の200点満点。工の後期はリーディング65点、リスニング35点の100点満点。②英語資格・検定試験は利用しない。出願資格としていた「CEFR対照表のA2以上」を課すこともしない。③主体性に関する経験の記載を含む志望理由書の提出を出願要件とする。志望理由書の内容は合否判定には用いない。④工学部前期では個別試験の配点を変更。数学(200点→350点)、理科(250点→400点)、外国語(100点→150点)に変更。個別試験全体では550点→900点に変更。個別試験の配点が高くなるため、共通テストに加え、個別試験の対策がより重要に。